

栃木県人口未来推進本部について

I 本県人口の将来展望

本県の総人口は、平成17(2005)年に過去最高の201万6,631人に達したが、その後減少に転じ、減少幅が拡大する傾向にある。

今後、少子化や県外への転出超過の傾向が継続すると、人口減少は加速度的に進行し、本県の人口は、令和42(2060)年には約128万人にまで減少すると予測されるが、「新とちぎ未来創造プラン(2026~2030)」では、オール栃木体制で対策を講じていくことにより、令和42(2060)年に140万人以上を確保することを目標としている。

II 現状と課題

出生数及び婚姻数は、わずか10年間(2015年~2024年)で2/3程度にまで減少している。また、転出超過は、特に20代女性において、直近の10年間(2016年~2025年)で1万5千人超※となっている。 ※出典:住民基本台帳人口移動報告(総務省)

転出超過は、県内の人口減少を進行させるだけでなく、結婚・出産に影響をもたらす減少を一層加速させるものであるため、女性や若者が「戻ってきたい」と思える環境づくりをはじめ、人口減少・少子化対策を総合的かつ着実に推進していく必要がある。

また、県全体に広がるムーブメントを起こしていくためには、県民一人ひとりが人口減少問題を自分事として捉え、個人・企業・団体それぞれが主体的に行動していくことが急務である。

III 栃木県人口未来会議

深刻さを増す人口減少・少子化問題の克服に向け、施策の実効性を県全体で高めるとともに、官民連携体制の強化を図るため、産官学言各界の関係者等も交えた「栃木県人口未来会議」を令和7(2025)年度に開催した。

会議の議論等を踏まえてとりまとめた「とちぎ人口減少克服宣言」や「栃木県人口減少対策マングラチャート」をもとに、オール栃木で人口減少・少子化対策に取り組んでいく。

栃木県人口未来推進本部の設置

「とちぎ人口減少克服宣言」を踏まえ、官民連携による女性や若者に選ばれるとちぎを実現し、人口減少を乗り越え、未来を共創する。

- 人口減少・少子化対策関連事業の進捗管理
- 課題の把握・分析、施策の検討

栃木県人口未来推進本部

改組

- ◆本部長:知事
- ◆構成員:庁議メンバー

本部幹事会

改組

- ◆主催者:次長兼総合政策課長
- ◆構成員:総務主幹等

人口未来推進WG

改組

- ◆主催者:人口未来課(主)、総合政策課(副)
- ◆構成員:各課担当者

人口減少を乗り越え、未来を共創するための3本柱

(人口減少克服宣言に基づく柱)

(マングラチャートの8つのサブ目標)

①結婚・子育ての希望の実現

- ✓結婚の希望をかなえる
- ✓安心して妊娠・出産ができる
- ✓子育てしやすい

②教育環境・労働環境の充実

- ✓教育環境の充実
- ✓魅力ある就労環境
- ✓仕事と家庭の両立

③女性・若者が輝く地域の創出

- ✓女性・若者に選ばれる地域づくり
- ✓移住・定住の促進